

CEFR読解指標に基づく日本語例文の自動分類Web
アプリケーション開発について（研究の進捗発表（
ジュニア（大学1～3年生），新規発表）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-08-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: CAO HOAI, GIANG, 宮崎, 佳典, 谷, 誠司 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028298

CEFR 読解指標に基づく日本語例文の自動分類 Web アプリケーション開発について

CAO HOAI GIANG（静岡大学情報学部情報科学科），
宮崎佳典（静岡大学大学院情報学領域），
谷誠司（常葉大学外国語学部）

2017年にCEFR（言語能力の国際基準）の最新バージョン，CEFR Companion Volumeが公開され，Pre-A1レベルが追加された．一方で日本語教育に向けたCEFRの研究は少なく，日本語CEFR準拠テキストコーパスも見当たらない．その理由で本研究では，コーパスを作成する際，例文にCEFRの読解力を表すCDS（能力記述文）を付与する労力を軽減し，自動分類の実装に取り組んでいる．分類にはSupport Vector MachineとRandom Forestアルゴリズムを適用し，例文の特徴量の計算手法などを改良することで，より効率的に機械学習させるよう試みる．また，新しく開発した特徴量の効果を先行研究の分類システムと比較することで，本研究のシステムの優位性を導くことを目的とする．これに合わせて先行研究のウェブアプリケーションについてもさらに実装を重ねていく．